

問8 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと

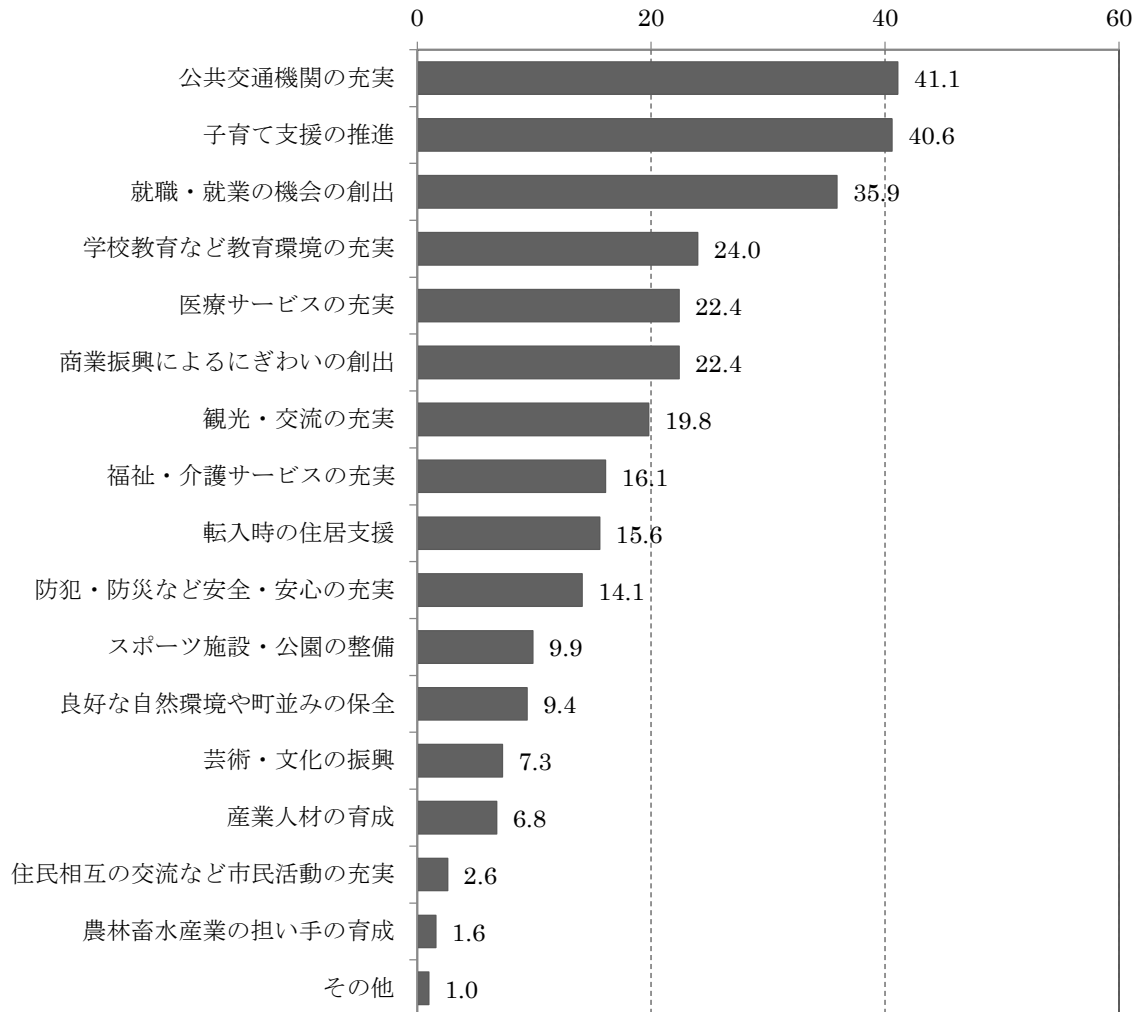
問8 あなたは、岐阜県への移住・定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで）

全体（図8-1）で見ると、「公共交通機関の充実」が41.1%と最も高く、次いで「子育て支援の推進」が40.6%、「就職・就業の機会の創出」が35.9%の順となっている。

図8-1 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと

回答者数(n=192)※

総回答数(N=558)



※「無回答」が1人いるため、回答者数は192人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

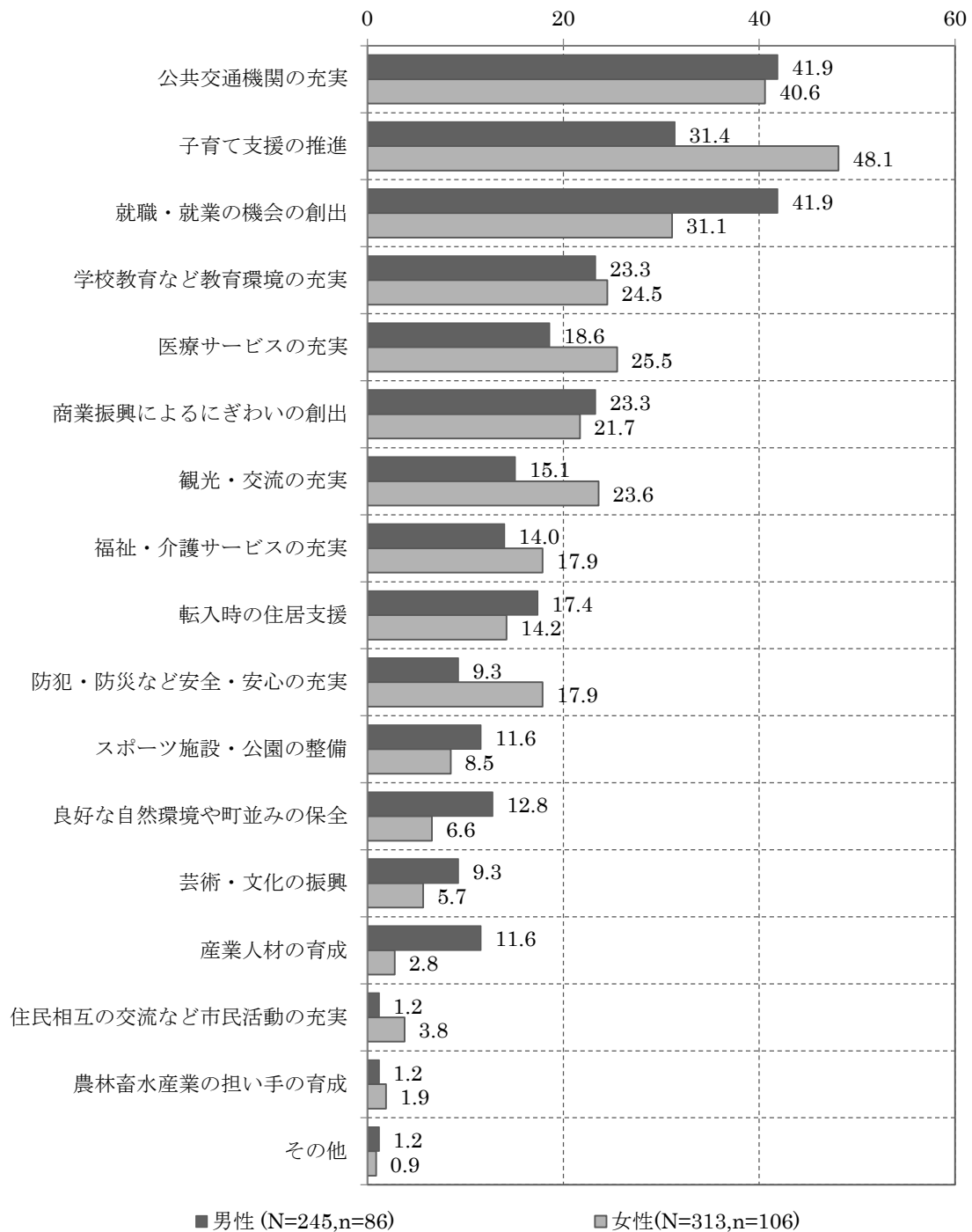
- ・住民相互の交流やボランティアなど市民活動の充実
……住民相互の交流など市民活動の充実

※「その他」の内容

- ・中小企業向けに、助成金や法人税率の引き下げを行う。
この部分で他県企業との競争力を高め、法人所得・個人所得を増加させ税収を増やす。
- ・伝統的な技術（鍛冶や和紙等）の継承と新しい分野への応用。

性別（図 8-2）で見ると、男性は「公共交通機関の充実」「就職・就業の機会の創出」が41.9%と最も高く、女性は「子育て支援の推進」が48.1%と最も高くなっている。

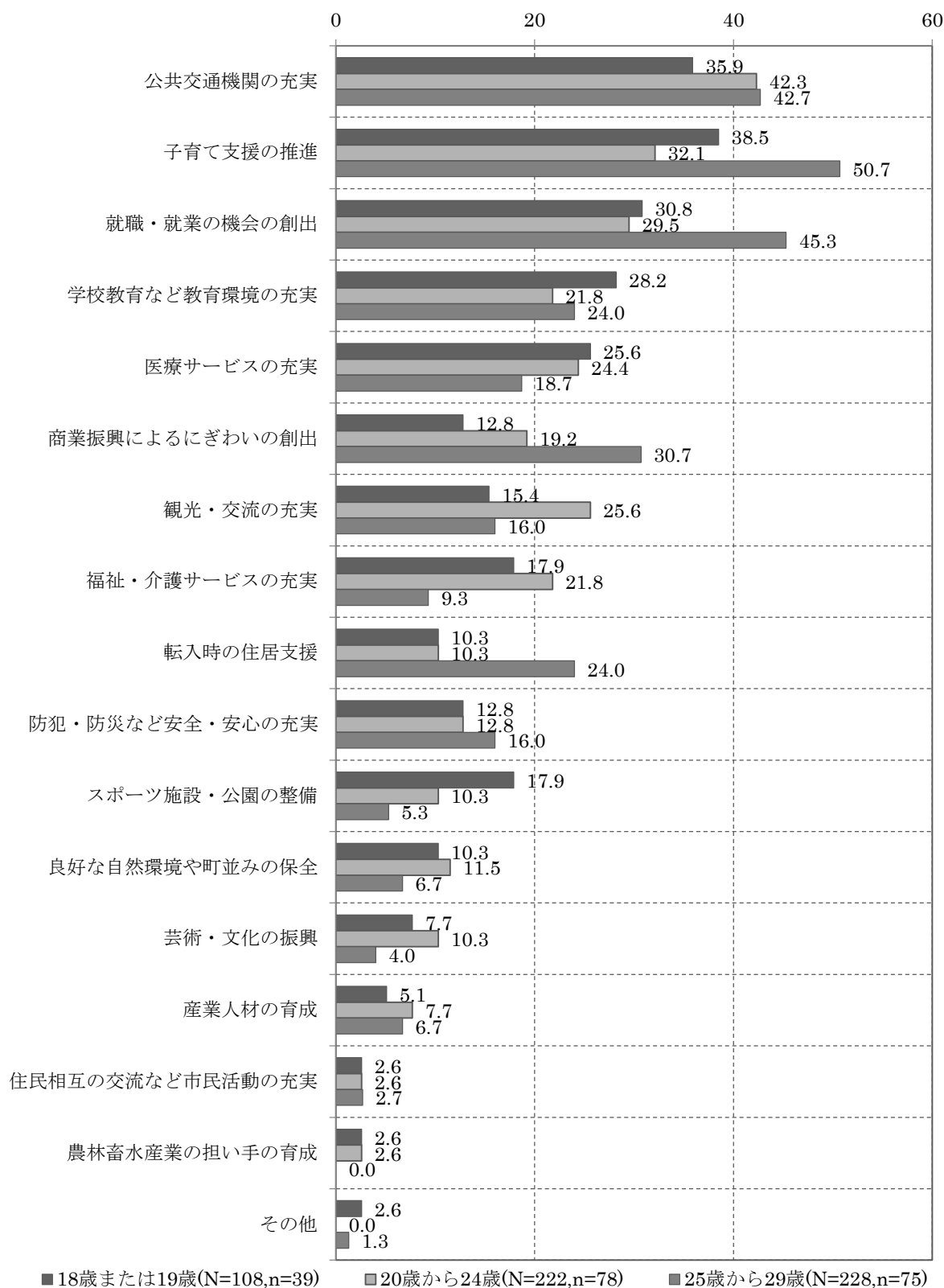
図 8-2 【性別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 8-3）でみると、20 歳から 24 歳を除くいずれの年代においても「子育て支援の推進」が最も高く、そのうち 25 歳から 29 歳は 50.7%と最も高くなっている。20 歳から 24 歳は「公共交通機関の充実」が 42.3%と最も高くなっている。

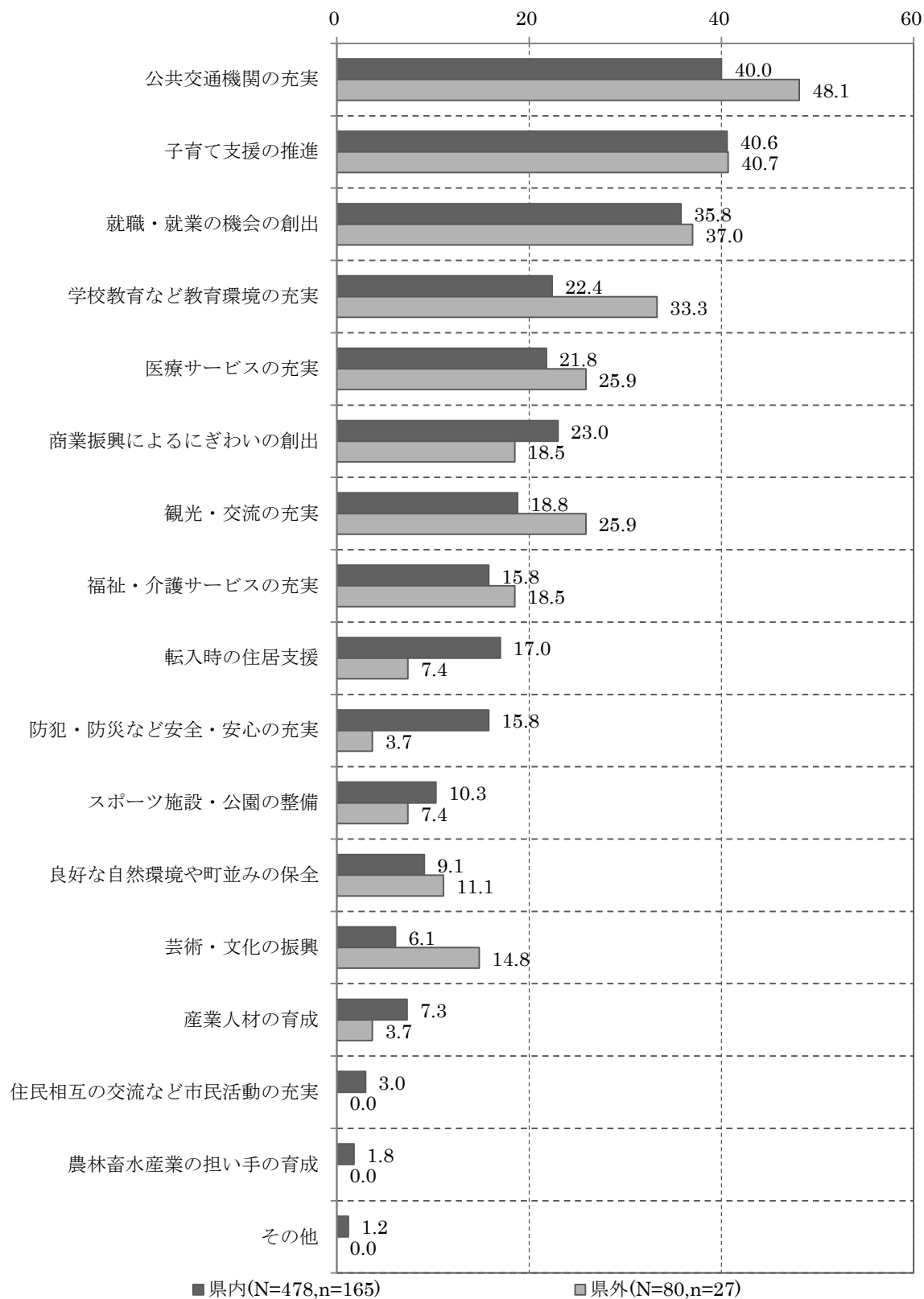
図 8-3 【年代別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者

居住圏域別（図 8-4）でみると、県内は「子育て支援の推進」が 40.6%と最も高くなって
いる。県外は「公共交通機関の充実」が 48.1%と最も高くなっている。

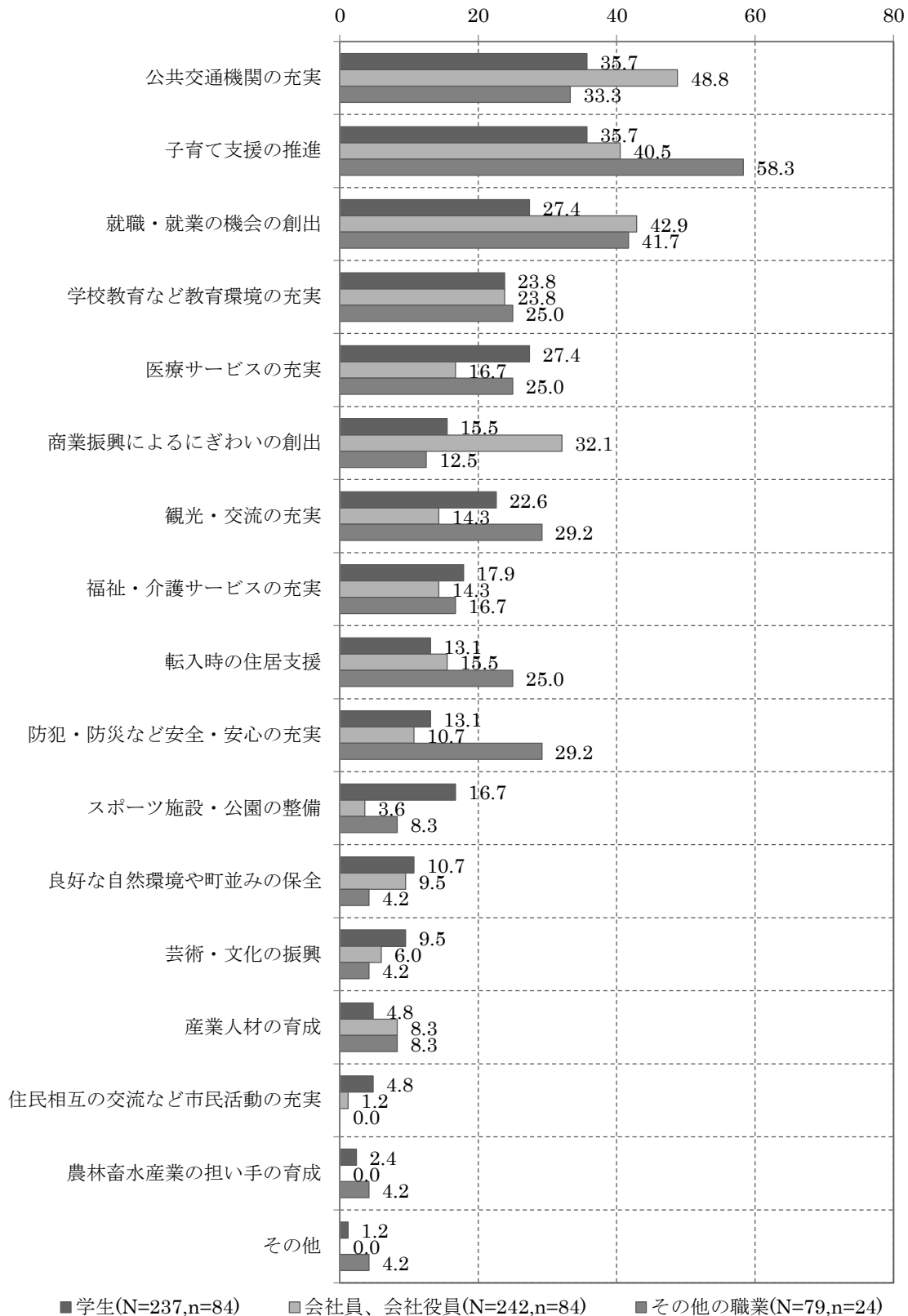
図 8-4 【居住圏域別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 8-5）でみると、学生は「公共交通機関の充実」「子育て支援の推進」が 35.7%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「公共交通機関の充実」が 48.8%と最も高くなっている。その他の職業は「子育て支援の推進」が 58.3%と最も高くなっている。

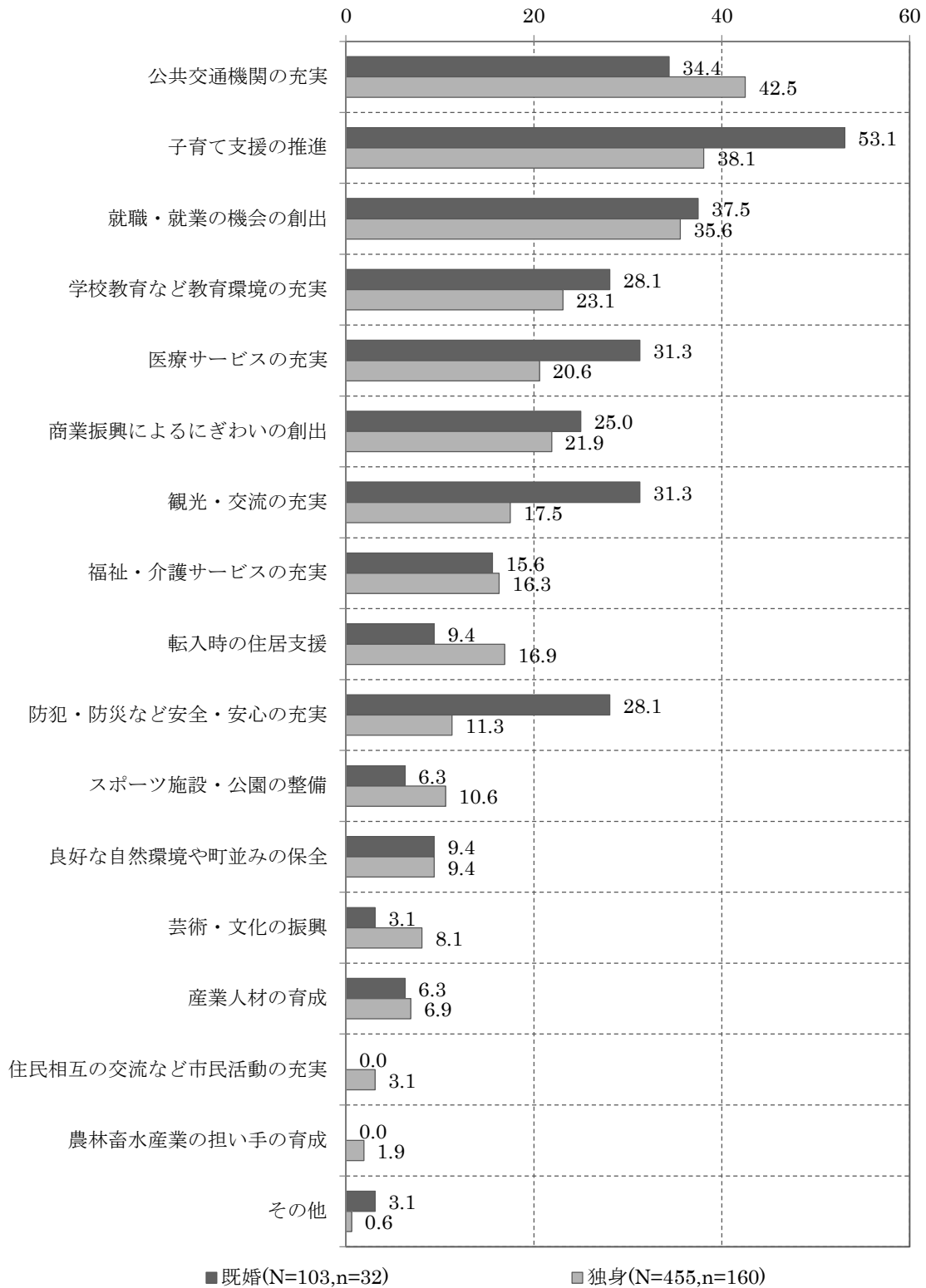
図 8-5 【職業別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 8-6）でみると、既婚は「子育て支援の推進」が 53.1%と最も高くなっている。独身は「公共交通機関の充実」が 42.5%と最も高くなっている。

図 8-6 【婚姻の状況別】 岐阜県への移住・定住促進のために力を入れるべきこと



※ N=総回答数 n=回答者数